



## News Release

2022年2月3日

### 通期業績予想(IFRS)の修正に関するお知らせ

当社は、このたび、2021年10月28日に公表した2022年3月期の通期連結業績予想を修正することとしたので、お知らせします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期の連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:百万円)

	売上収益	Core 営業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	Core EPS
前回公表予想(A)*	3,370,000	930,000	488,000	352,000	184,300	117 円 35 銭	394 円
今回修正予想(B)	3,510,000	970,000	515,000	385,000	242,500	154 円 99 銭	416 円
増減額(B-A)	+140,000	+40,000	+27,000	+33,000	+58,200	—	—
増減率(%)	+4.2%	+4.3%	+5.5%	+9.4%	+31.6%	—	—

\* 2021年10月28日公表

#### 2. 修正の理由

通期の業績予想につきましては、当第3四半期までの業績を踏まえ、2021年10月28日に公表した予想から修正します。売上と利益に係る本修正は、円安方向に前提為替レートを見直したこと、14のグローバル製品が好調に推移し業績を牽引していること、および規律をもって営業経費を抑制していることを反映したものです。また、今回の業績予想の上方修正では、税率をはじめとしたその他の前提条件についても見直していません。

#### 3. マネジメントガイダンス

通期のマネジメントガイダンスにつきましては、前回公表ガイダンスから修正ありません。

	前回公表 マネジメントガイダンス (2021年10月28日公表)	今回公表 マネジメントガイダンス (2022年2月3日公表)
実質的な売上収益の成長	一桁台半ば	一桁台半ば
実質的な Core 営業利益の成長	一桁台半ば	一桁台半ば
実質的な Core 営業利益率	約 30%	約 30%
実質的な Core EPS の成長	一桁台半ば	一桁台半ば

以上

---

< 投資家関係問い合わせ先 >

武田薬品工業(株)

グローバルファイナンス IR

クリストファー・オライリー

Tel: 03-3278-2306

Email: [takeda.ir.contact@takeda.com](mailto:takeda.ir.contact@takeda.com)

< 報道関係問い合わせ先 >

武田薬品工業(株)

グローバル コーポレートアフェアーズ

松元 涼子

Tel: 03-3278-2037

Email: [ryoko.matsumoto@takeda.com](mailto:ryoko.matsumoto@takeda.com)

< 武田薬品について >

武田薬品工業株式会社(TSE: 4502/NYSE: TAK)は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。武田薬品は、「すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために」という約束を胸に、革新的な医薬品を創出し続ける未来を目指します。研究開発においては、オンコロジー(がん)、希少遺伝子疾患および血液疾患、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、消化器系疾患の4つの疾患領域に重点的に取り組むとともに、血漿分画製剤とワクチンにも注力しています。武田薬品は、研究開発能力の強化ならびにパートナーシップを推し進め、強固かつ多様なモダリティ(創薬手法)のパイプラインを構築することにより、革新的な医薬品を開発し、人々の人生を豊かにする新たな治療選択肢をお届けします。武田薬品は、約80の国と地域で、医療関係者の皆さんとともに、患者さんの生活の質の向上に貢献できるように活動しています。詳細については <https://www.takeda.com/jp/> をご覧ください。

< 留意事項 >

本留意事項において、「リリース」とは、本ニュースリリース(添付資料および補足資料を含みます。)において武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明または配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答および書面または口頭の資料を意味します。本ニュースリリース(それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます。)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却、その他の処分の提案、案内もしくは勧誘またはいかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ニュースリリースにより株式または有価証券の募集を公に行うものではありません。米国1933年証券法(その後の改正を含みます。)に基づく登録または登録免除の要件に従い行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、(投資、取得、処分、その他の取引の検討のためではなく)情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に)提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性がございます。

武田薬品が直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品およびその子会社全般を参照するものとして便宜上使用されることがあります。同様に、「当社(we, us および our)」という用語は、子会社全般またはそこで勤務する者を参照していることもあります。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあります。

本ニュースリリースに記載されている製品名は、武田薬品または各所有者の商標または登録商標です。

### ＜将来に関する見通し情報＞

本ニュースリリースおよび本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標および計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念または見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「することができた(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」などの用語もしくは同様の表現またはそれらの否定表現を含むことが多いですが、これらに限られるものではございません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の業績は、将来見通し情報において明示または暗示された将来の業績とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本および米国の一般的な経済条件を含む当社のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功および規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品および既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利および為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレームまたは懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、当社が事業を行う国の政府を含む当社とその顧客および供給業者に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI(買収後の統合活動)の時期および影響、武田薬品の事業にとってのノン・コア資産を売却する能力およびかかる資産売却のタイミング、当社のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings/>)または [www.sec.gov](http://www.sec.gov) において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書および当社の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、または当社が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果は武田薬品の将来の経営結果またはその公表を示すものではなく、その予測、予想、保証または見積もりではありません。